

令和8年4月

中学校卓球部顧問・指導者の皆様へ

中学校卓球部に所属する生徒の保護者の皆様へ

東京都立多摩工科高等学校

平 雅 行

ご挨拶

新緑の候、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、4月1日付を以て東京都立多摩工科高等学校に着任した平雅行です。

先生方におかれましては、私が私立中学・高等学校在職中からお世話になっている方も多く、感謝しております。ご存じの先生方も多いことかと思いますが、私は19年間、私立中学・高等学校に勤めていました。しかし今から10年前、42歳のときに「私の教員人生はこのままで良いのか?」「自分が育った都立高校で教えたいのではないか?」と強く思いました。「人間青山（じんかんせいざん）」という私の好きな言葉がありますが、これは「人間到る処に青山あり」を略した言葉で、幕末の僧である月性の言葉です。意味は、「世の中は広く、死んで骨を埋める場所ぐらいどこにでもあるのだから、大望を成し遂げるためにならどこにでも行って大いに活躍するべきである」です。そして、やはり夢を捨てきれず「人間青山」の言葉のように、平成28年に東京都公立学校教員採用候補者選考に挑戦しました。その「強い思い」が何とか通じて無事に採用され、平成29年4月から令和3年3月までの4年間、東京都立小川高等学校に勤務。令和3年4月から令和8年3月までの5年間、東京都立野津田高等学校に勤務しておりました。その間の平成30年4月から2年間、東京高体連卓球男子専門部の副委員長を務め、令和2年の4月に東京高体連卓球男子専門部の委員長に就任して7年目を迎えます。今後とも、敢為邁往の精神で挑み続けていきます。

さて、先生方の学校の卓球部員で高校進学後に都立高校で卓球を続けたいという生徒がいましたら、都立多摩工科高校も選択肢のひとつとして薦めていただければと思います。

私の卓球部顧問・監督としての指導実績は多くはありませんが、私立中学・高等学校在職中は高体連主催大会の東京都予選で学校対抗の部ベスト16進出14回、ダブルスベスト16進出3回、シングルスベスト16進出1回、ベスト32進出5回、東京選手権ジュニアの部東京都代表2回など少しずつですが勝てるようになってきました。また、高校から卓球を始めた部員が学校対抗の部で活躍したり、個人戦で5回戦に進出するなど生徒のがんばりに助けられました。小川高校在職中は学校対抗の部ベスト32（4回戦）進出が3回、シングルスベスト64（7回戦進出）が1回など主だった実績を残すことはできませんでした。野津田高校では、着任当時は部員1名、しかも同好会からのスタートでしたが、3年目には部活動に昇格。4年目を迎えた令和6年には2大会連続で学校対抗の部で東京都ベスト16に入りました。そして私自身も今後の卓球指導のことを考えて、令和元年に日本スポーツ協会公認、卓球コーチ3養成講習会を受講して共通科目を修了、専門科目（卓球）も令和5年に修了して「卓球コーチ3」の資格を取得しました。多摩工科高校で一緒に顧問を務める谷合大樹先生も卓球コーチ3の資格を取得しており、180校を超える都立高校の中でコーチ3以上を取得している教員が複数名いるのは多摩工科高校だけです。

これからも卓球の灯を守り続け、ますます発展するよう研鑽を積み重ねていく所存ですので何卒以前と同様にご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。